

くろつち便り

今月の内容

MQ 9 配備反対集会(3/14) / 絶対反対-MQ 9 という死に神 (松下徳二) / Series学校現場から⑥ / ごてれつの独り言⑫ / 野草折々51(伊 枳ヲ) / 意見広告へ参加を / **次回の金曜集会は、5/6日 /17:30~**



MQ 9 配備反対集会

MQ 9 配備に際し3月末、調査が始まるという。また3月14日、日米の調査員が来るといふ。市民の安心・安全のための政策のはずなのに、市民の安心・安全よりも政策優先というのは主客転倒も甚だしい。いくら専権事項とは言え断じて許せない事案だ。有志30数名が自衛隊前で抗議集会。行き交う通勤途中の車に訴えた。

住民の会代表 松下徳二さん



「…米軍はこれまでこの鹿屋基地で私たちの反対の声を全く無視して、いくつかの訓練をやってきましたが、わざわざ岩国から遠い鹿屋まで飛んできてやらなきゃならない訓練だったのかと、疑問が消えません。」

鹿屋に米軍はいらない会代表



真島幸則さん
「…プーチンは核の使用を匂わせております。核の使用を匂わせるという、大国の指導者がいるということを私たちに知らしめました。まさに、核戦争が現実になってくるということですよ…」

県民の会代表 下馬場学さん



「…先日の報道で、MQ 9 の運用は軍まかせだということが報じられています。皆さんご存じ

のように、米軍は決まったことを守りません。佐世保や大分の夜間訓練の問題などなど、夜間訓練はしないと云いながらやっています。…私たちは微力ではありますが無力ではありません。これからはもずっと拒否の声を上げ続けていきましょう。」

この後、九条の会から菊水さん、元高校教師の土橋さんなどがマイクを手にした。

また、松下さんが今回の露軍の侵略戦争を厳しく非難した。この戦争を見れば、一旦戦争になれば、過去の歴史でもそうであったように、見境もなくなってしまい人間性が失われてしまうのは明白。

MQ 9 は新たな戦争を生み、戦争を助長するための武器だ。絶対に許してはならない。

(文責：楳園)



絶対反対 MQ9という死神=無人偵察機 鹿屋自衛隊に配備

とんでもない 絶対反対 !!



MQ9とは=人の乗っていない飛行機。1万5千メートル上空から地上を偵察し、情報を地上に送る。長さ約11メートル、幅約20メートル、鹿屋には無人機配備(予定)だが、武器を備えたものもある。鹿屋自衛隊基地から飛び立ち、32時間も飛び続け、得られた正確な情報をもとに米兵が操作し敵を全滅させる。狙ったものは逃さない。鹿屋には無人機とあるが、兵器を

搭載した同じ型のものがある。かなりの数の国が既に戦争で使っている。目標を正確に音もなく攻撃できるので「死神」と言われている。竹とんぼ、ラジコン、田圃へ薬剤散布のドローンまではよかったのですが、今や「死神」と言われるほどのものになっています。

が、こんな社会に誰がしたと嘆き恨んでる暇はない!くろつち会の皆さん、体は老いても闘志は健在、これまで育てあげてきた力をもうしばらく使い尽くしませんか。子や孫に誇れる社会を残すために、もうひと踏ん張りしましょう。(文：松下徳二)



意見広告へ参加お願い

昨今の状況を鑑みますと、九条がますます大切になってきているのに逆にますます九条が侵されそうになってきています。

毎年、**5月3日の南日本新聞朝刊に、意見広告**を掲載しています。この大隅からも多くの方々に協力をいただいています。

ところがコロナ禍や蔓延防止法の影響で、今年は例年の半分ぐらいしか集まっていません。これでは敵の思うつぼです。

一口 1000円で大変ですが、ご検討よろしくお願ひします。詳細は、松下 **TEL.44-9687迄。**

お金は後からでもいいですので、まず一報をお願いします。

図、あたらしい憲法の話より





シリーズ その⑥
学校現場から

大黒小 関下俊郎

「数値目標」を掲げて何やら取り組む意識させる。そしていかにも業績を可視化し報告する。教育現場ではよく見られることで、報告資料の中には「達成率および目標率を明記する」ということで、担当を悩ませることがよくある。体育担当をしながら「体力アップ」の計画書や報告に目標や達成率を明記するよう管理職から要望がある。人数の少ない学校での達成率など意味がない。たった一人の子どもの実績が全体に大きく影響する。「そんな数値による報告、意味がないですよ」と断る。(その後の処理は教頭が渋々と...) どの学校でも読書を充実させ

再任用の求めらるるよ・パートに

る取組がある。目標冊数を決めたり、「親子読書の日」など無理に設定したりするような取組だ。子どもたちもとにかく冊数を増やそうと頑張る。高学年になっても低学年向けの絵本を借りたり、同じ本を何度も借りたり...子どもたちなりに「数値目標達成のため」頑張っているのだ。

ある日、一人の女の子が「先生、はいどうぞ。」と言つて、一冊の本を差し出した。学校には月一回のペースで、市の移動図書館「ほたる号」がやって来る。学校にはない本を借りることができるといふことで人気がある。差し出した本のタイトルを見ると「日本酒」とあった。サブタイトルは「知識があれば日本酒はもつと旨くなる!本気で知りたい!」とあった。その子は私のためにわざわざ借りてくれたようだ。(担任のことをよくわかっていて、優しい子です。)早速読ませてもらった。「今飲むべき酒は」とか「ラベルには味のヒントが隠れている」と大変興味深い内容の本であった。

「日本酒ラベル130」に各都道府県の日本酒のラベルが紹介されていたが、九州地区は熊本県までであった。「やっぱり、かごんまは焼酎なんだなあ。」と改めて思った。読書冊数を増やすための一冊だったかどうかわからないが、担任としては大きく評価したい。やっぱり、かごんまは焼酎



投票日まで、あと20日

任期満了に伴う鹿屋市議会選挙は、投票日は4月24日です。今回は定数が2減ですので厳しい選挙戦になります。中馬川西事務所は、ミネサキ川西店の道路向かいです。近くを通りかかった際に立ち寄り下されば応援になります。ここで告示日4月17日9時~9時40分、出発集会があります。(広い駐車場有り。)

中馬の川西事務所の看板↓

ごてつのはり 12

スーザン女史の有名な言葉「(上流の少数者を除き)我々はみな牢獄の中にいる」は、我々は自由を謳歌しているが、生活の最も重要な側面になると自由がないこと、それは経済格差が引き起こしていることを端的に言い表した言葉だろうと思う。今回の侵略戦争を通して露国の現状を見る思いがした。露国民にも牢獄の中にいることを自覚している人々が

大勢いて、反戦運動に憤激参加している。翻って日本はどうか。「牢獄の中」を自覚している人は一体どれ位? ■灯りに惹かれて舞い降りてきた蛾がいた。■オビエダシヤクだ。すぐに足で踏み潰した。この幼虫の食草は生垣のイヌマキで、毎夏この幼虫に悩まされているが、まだ3月中旬だというのに。今夏の大発生が心配。あ~あ、今年も悩まされそう。

←はねの中央に黄色の帯状の紋様

■国境なき記者団 (R



SF) が発表した「世界報道自由度ランキング」は、2021年版では日本はG7中最下位の71位。民主党政権下の2010年は11位であったことを考えると「大手TV局や大新聞が、民主党には自由に政権の悪口を言っていたが、安倍政権の悪口は全く言わなくなったから」(池田靖彦)という。民主主義が聞いてあきれ。4月末に今年度版が発表されるはずだが、日本のランキングはどうなっているだろう。(樋園)



報道部記者



野草新々-51-

飯山春男さん紹介の身近な植物シリーズ

イブキトラノオ (タデ科)



滋賀県伊吹山に多く見られる多年草。7~8月ごろ茎頂に、円柱状の花穂をつけ、淡紅色の花を密につける。

写真は 滋賀県伊吹山 2019年7月25日